

令和5年竹田市教育委員会第2回定例会 会議録

- 1 開催日時 令和5年2月6日（月）午後3時から
- 2 開催場所 竹田市役所2階庁議室
- 3 出席委員

教育長	志賀 哲哉
1 番委員	甲高 幸一
2 番委員	佐藤 恵
3 番委員	吉野 聖子
4 番委員（教育長職務代理者）	賀籠六尚樹
- 4 欠席委員 なし
- 5 本定例会に説明のため出席した者の職・氏名

教育総務課長	野仲 芳尊
学校教育課長	渡邊 早苗
生涯学習課長	工藤 直樹
まちづくり文化財課長	古田 卓
竹田中央学校給食共同調理場長	松田 好恵
歴史文化館長	佐藤 晃洋
事務局員 教育総務課課長補佐	羽田野京子
- 6 議事日程
 - (1) 会議録の承認 第1回定例会会議録
 - (2) 教育長報告
 - (3) 審議事項

議題第3号	令和4年度竹田市教育費予算（3月補正）要求書について
議題第4号	竹田市いじめ問題専門委員会条例の制定を市長に申し出ることについて
議題第5号	竹田市スポーツ傷害見舞金支給条例の一部を改正する条例の制定を市長に申し出ることについて
議題第6号	竹田市歴史文化館条例の一部を改正する条例の制定を市長に申し出ることについて
議題第7～13号	公の施設を他の普通地方公共団体の住民の利用に供することに関する協議を市長に申し出ることについて（7件）
議題第14～20号	他の普通地方公共団体の公の施設を竹田市の住民の利用に供させることに関する協議を市長に申し出ることについて（7件）
 - (4) 報告事項
 - (5) 審査事項
 - (6) 協議事項

令和4年度小中学校卒業式・幼稚園卒園式及び令和5年度小中学校入学式・幼稚園入園式について
--
 - (7) 連絡事項
 - (1) 2月幼・小・中行事予定表
 - (2) 2月教育委員会関係日程（予定）
 - (3) 今後の主な予定

- (8) その他 各課から
- (9) 教育委員からの提案・意見

7 議事次第 別紙のとおり

[開会時刻：午後3時00分]

野仲教育総務課長	委員の出席状況でございます。教育長及び委員4名出席、傍聴者はいらっしゃいません。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条の規定に基づき、本委員会が成立していることを報告いたします。
志賀教育長	それでは、ただいまから第2回定例会を開会します。第1回定例会の会議録はすでにお配りしていますが、修正等はありませんか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	では署名をお願いします。 (署名)
志賀教育長	次に、教育長報告をお願いします。教育総務課長。
野仲教育総務課長	前回の教育委員会第1回定例会、1月10日以後の報告とさせていただきます。1月12日、第11回校長・所長会議、及び九州歴史まちづくりサミット in 宗像。13日、サフラン始業式。14日、瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール第3回実行委員会、及びコンツァートK O J O。21日、第45回河合尚武旗竹田職域クラブ駅伝競走大会。22日、文化財防火デーに伴う火災防御訓練。23日、竹田教育振興協議会運営委員会、及び直入中学校の今後のあり方地域説明会。24日、久住高原農業高校学習成果発表会。25日、大分県市町村教育長会議兼教育情報化推進本部会議。26日、第5回中学校制服のあり方検討委員会。27日、定例課長会議。31日、教育講演会。2月1日、久住高原クロスカントリー大会第1回実行委員会。2日、管内教育長会議、及び健康づくり推進協議会。3日、教育振興評議員会。4日、竹田高校体験セミナー。そして本日6日、教育委員会第2回定例会。以上です。
志賀教育長	教育長報告に対する質疑はありませんか。 それでは、次に移ります。本日の審議事項は18件です。議案第3号令和4年度竹田市教育費予算3月補正要求書についてです。初めに各課から説明を行い、すべてが終了した後に質疑を受けたいと思います。それでは、教育総務課長。
野仲教育総務課長	要求書説明資料の2ページをご覧ください。教育総務課関係の予算要求内容を説明いたします。まず歳入の45万円減額ですが、これはスクールバス購入に際しての入札で金額が下がりましたので、それに伴って国の補助金額も変更申請をし、減額したものです。 次に歳出ですが、教育委員会事務局費の主なものは、機械器具購入費の減額、これは久住中・都野中の統合にかかるスクールバス購入に際しての入札執行残となります。小学校管理諸費の主なものとして、豊岡小のランチルーム空調設備の工事にあたり、当初は設計監理委託料も必要として計上していましたが、実際には修繕工事で対応できましたので、その委託料が不用となり減額しております。中学校管理諸費では、緑ヶ丘中学校の軒天工事にかかる執行残の減額などとなります。幼稚園運営費では、竹田幼稚園の副担任を会計年度任用職員として通年で募集しておりましたが、応募がない状態のままで、その予算を減

額するものです。教育総務課関係は以上です。

志賀教育長

では次に、渡邊学校教育課長。

渡邊学校教育課長

3 ページをご覧ください。学校教育課は、外国語指導助手招致事業費として、A L T の予算不足でしたので、849,000 円を補正して要求するものです。学校教育課は以上です。

志賀教育長

工藤生涯学習課長。

工藤生涯学習課長

4 ページをお開きください。今回の補正予算は令和 4 年度事業を執行し、その執行残額を減額するものです。主な内容についてご説明申し上げます。10. 5. 1 歳出の上段の事業番号 339 番、青少年教育事業費で廣瀬武夫顕彰柔道大会補助金 100 千円、岡城旗争奪剣道大会補助金 90 千円の 2 件についてはコロナ感染防止のため中止したため合わせて 190 千円減額致しました。

5 ページをご覧ください。10. 5. 3 上段の事業番号 350 公民館分館管理運営費で宮城分館敷地内瓦撤去作業手数料 500 千円減額でございます。この件は将来の宮城分館瓦の葺き替えに備えて、平成 25 年頃に竹田市消防本部の庁舎解体工事の際、消防署の瓦を宮城分館敷地内に保管しておきましたが、保管していた瓦が冬場の凍結により瓦自体が欠損して再利用できないため、今回廃棄物として処理した費用 817,300 円の執行残 500 千円の減額でございます。10. 5. 5 中央の事業番号 797 くじゅうサンホール自主事業費は舞台の管理運営委託料の執行残として 800 千円の減額です。10. 6. 2 下段の事業番号 400 学校体育施設開放費については、施設管理業務委託料として 629 千円を計上しております。これは完成した総合運動公園多目的広場 L E D 化工事に伴い、取り外した水銀灯を学校開放のグランド照明で球切れしている箇所に再利用し取り替える経費でございます。ここで資料の修正をお願いします。荻小 393 千円を 72 千円に、直入中 72 千円を 393 千円をお願いします。詳細を申し上げますと、竹田中 82 千円で 8 灯、竹田南部中 82 千円で 7 灯、荻小 72 千円で 5 灯、直入中 393 千円で 6 灯と安定器 41 基を取り替える要求です。以上です。

志賀教育長

古田まちづくり文化財課長。

古田まちづくり文化財課長

6 ページ、歳出の方からご覧いただければと思います。全て実施状況、実績等に伴う整理による減額でございます。373 文化財保護事業諸費は、文化財保護調査委員会の開催状況により委員報酬等を減額しております。おたまや公園維持管理は、燃料費、食糧費を減額しております。378 旧竹田荘草際吟舎の修復事業は、工事の入札残等を減額いたしました。歳入の国県の補助金減額は、この減額に対応するものでございます。380 岡城跡管理費については、印刷製本費におきましてパンフレットの残部に応じた減額、運搬等委託料は、登城バスの運行日数に応じた減額を行っております。1469 県営圍場整備に係る発掘調査費は、2822 万円の減額をしております。これは、発掘調査が、試掘調査から本調査に至った場合の調査の外部委託費でした。試掘時期等の関係で今年度の本調査契約は発生しませんでした。ただ、本調査に至ることがほぼ間違いのないという箇所はありますので、それについては次年度の契約による実施となる見込みです。

歳入の県委託金は、この減額に伴い、約 92.5%相当分を減じているものであります。以上でございます。

志賀教育長

佐藤歴史文化館館長。

佐藤歴史文化館長

7 ページをご覧ください。歳入は、328 万 6 千円の減額でございます。これは観覧料で、想定した有料の来館者数に届かず、減額しております。歳出は、216 万 8 千円の減額でございます。事業番号 390「歴史文化館運営管理費」については、電気料の高騰による支出増額分の 82 万円を増額計上しております。この他は、コロナ禍等により実施できなかった会議や出張等の減額、講演会関係の残額等、各事業について精査し、不用額として減額計上をしております。以上です。

志賀教育長

松田給食調理場長。

松田給食調理場長

8 ページをごらんください。歳入から説明します。13 款 2 項 6 目教育費負担金、保護者からいただく給食費負担金ですが、当初予算で見積もっていた人数から児童生徒、教職員の数が減ったことと、幼稚園の保護者さんで副食費免除に該当する方の負担金を減額して、中央調理場で 448 万 4 千円、久住調理場で 61 万 2 千円、合計 509 万 6 千円の減額、16 款 1 項 3 目 教育費県負担金、県立竹田支援学校の給食事業費として県からいただいている負担金です。実績報告に基づく減額 18 万 6 千円を計上しています。

次に歳出ですが、事業No.361 久住調理場費の業務手数料、工事請負費、備品購入費とも執行残を減額計上しています。同じく事業No.913 中央調理場運営費も久住調理場費と同じく、業務委託料の執行残を減額計上しています。以上です。

志賀教育長

図書館について教育総務課長ありますか。

野仲教育総務課長

3 月補正予算はございません。

志賀教育長

説明が終わりましたので、質疑を受けます。まず教育総務課について、質疑等ありませんか。

では、学校教育課について、質疑ありませんか。

生涯学習課について、質疑等ありませんか。

まちづくり文化財課について、質疑等ありませんか。

歴史文化館について、ありませんか。

甲高委員。

甲高委員

予算のことではないのですが、私が前に一度県立芸術文化短期大学の学生を、館長の協力のもとお連れしたことがありましたが、入場された学生さんが入って岡城の説明とかを見たときに、「これはすごくいい」とみんな言っていて、できればこれを見てから岡城に上がっていただけると、みんなさらに岡城の良さが分かるんじゃないかというような意見をいただきました。ちょっと入館料が少し減額ということで寂しいのですが、いいものなので、ぜひ頑張って増やせるようにお願いしたいと思います。よろしくお祈りします。

志賀教育長

はい、佐藤歴史文化館長。

佐藤歴史文化館長	<p>ありがとうございます。おっしゃられたように、来館された方から、映像やジオラマ等をご覧になって、その上で岡城に上ったら、なお岡城がわかりやすくなるというお話等もいただいております。歴史文化館の入館者数そのものは順調に伸びているのですが、春と秋のいい時期に市民の皆さんに市報に家族無料観覧券をつけて、来ていただくということをしていることもあり、有料の来館者が想定を下回っております。市内外・県外へのPRをさらに進めて、入館者を増やしていけるように取り組んでいきたいと考えております。よろしく願いいたします。</p>
志賀教育長	<p>はい。その他、学校給食調理場についてありませんか。 ないようですので、議題、第3号承認してよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>(「はい。」の声あり)</p>
志賀教育長	<p>承認されました。 次に、議題第4号「竹田市いじめ問題専門委員会条例の制定を市長に申し出ることについて」学校教育課長、説明をお願いします。</p>
渡邊学校教育課長	<p>議題第4号「竹田市いじめ問題専門委員会条例の制定」を市長に申し出ることについてです。条例制定の趣旨は、竹田市立の小・中学校におけるいじめの防止等のための対策を実効的に行うとともに、いじめ防止対策推進法(平成25年法律第71号)により定められた事項の調査を行うため、竹田市いじめ問題専門委員会を設置することに関し、必要な事項を定めるものであります。第2条にありますように、竹田市いじめ問題専門委員会は、竹田市教育委員会の求めに応じ、①いじめ問題等の未然防止、早期発見等の取組への助言・支援を行うこと ②法第24条に規定する事案について調査すること ③法第28条第1項に規定する重大事態について調査すること、としております。これまでも「いじめ問題専門委員会」は設置しておりましたが、この度、条例化するものです。</p>
志賀教育長	<p>ただいまの説明に質疑等ありませんか。 ないようですので、議題第4号、承認してよろしいですか。</p>
委員	<p>(「はい。」の声あり)</p>
志賀教育長	<p>承認されました。 次に、議題第5号「竹田市スポーツ傷害見舞金支給条例の一部を改正する条例の制定を市長に申し出ることについて」です。生涯学習課長、説明をお願いします。</p>
工藤生涯学習課長	<p>はい。議案第5号「竹田市スポーツ傷害見舞金支給条例の一部を改正する条例の制定を市長に申し出ることについて」です。この案は、大分県及び竹田市が主催するスポーツ大会に、市の代表又は地区の代表として市外居住者が出場した場合、現行条例では見舞金の額は別表で定める額の2分の1であるが、今回改正を行うことにより市外居住者も同額の支給ができるよう所要の改正を行う</p>

ものです。また、第2条第1号中「県民体育大会」の名称が「県民スポーツ大会」に変更された為に改正を行うものです。

志賀教育長

ただいまの説明に質疑等ありませんか。
ないようでしたら、議題第5号承認してよろしいですか。

委員

(「はい。」の声あり)

志賀教育長

承認されました。
次に議題第6号「竹田市歴史文化館条例の一部を改正する条例の制定を市長に申し出ることについて」です。歴史文化館長説明をお願いします。

佐藤歴史文化館長

「竹田市歴史文化館条例の一部を改正する条例の制定を市長に申し出ることについて」です。この案は、博物館法の改正に伴い、所要の改正を行うものです。具体的には、竹田市歴史文化館の設置の根拠法令としておりました博物館法第18条が削除されたことに伴い、竹田市歴史文化館を博物館法第2条第1項に規定する博物館と明記するものであります。よろしくお願ひいたします。

志賀教育長

ただいまの説明に質疑等ありませんか。
ないようですので、議題第6号を承認してよろしいですか。

委員

(「はい。」の声あり)

志賀教育長

承認されました。
次に、議題第7号から13号「公の施設を他の普通地方公共団体の住民の利用に供することに関する協議を市長に申し出ることについて」7件ですが、関連がありますので、議題第14号から20号「他の普通地方公共団体の公の施設を竹田市の住民の利用に供させることに関する協議を市長に申し出ることについて」7件と合わせて14件について、野仲教育総務課長の説明をお願いします。

野仲教育総務課長

それでは、両議題につきまして、関連がありますので一括して提案理由のご説明をいたします。この主旨を簡潔に申し上げますと、大分都市広域圏に係する7市1町にある、それぞれの図書館を相互に利用できるようにする、本の貸し借りがこの広域圏でできるようにするという取組みです。まず議題第7号から第13号ですが、竹田市立図書館を竹田市以外の住民が利用できるようにするための協定を結ぶものです。これに対して、議題第14号から第20号は、竹田市以外の市町にある各図書施設を、竹田市民が利用できるように協定を結ぶものです。

ちなみに、この「大分都市広域圏」というのは、国が提唱する「連携中枢都市圏構想」に基づいて組織されたもので、大分市を圏域の中心市として、隣接する市町の一体的で持続的な発展を図るため、平成28年3月に連携協約を締結しております。大分市のほか、別府市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、由布市、日出町の合わせて7市1町が加入して、この圏域を形成しております。組織として策定した「大分都市広域圏ビジョン」に沿って、「産業」「都市機能」「住民サービス」の分野ごとに、具体的な施策を連携しながら進めているところです。以上です。

志賀教育長	ただいまの説明に質疑等ありませんか。 ないようでしたら、議題第7号から13号及び、議題第14号から20号を承認してよろしいですか。
委員	(「はい。」の声あり)
志賀教育長	では次に移ります。
野仲教育総務課長	教育長、ちょっといいですか。
志賀教育長	はい。どうぞ。
野仲教育総務課長	<p>前回、第1回定例会で令和5年度当初予算要求書にかかる議題審議に際して、佐藤委員からご質疑あった件について、ここでお答えさせていただきます。内容は「校務用・教育用パソコンのリース料が毎年3,000万円余り計上されるが、令和5年度の当初予算要求が1,100万円と激減している理由は何か」との質疑でありました。結論から申し上げますと、令和5年度の予算要求額も、合計で3,000万円を超えておりました。正確には33,115千円となっております。実は、前回の定例会での説明資料の内訳が、その一部の額しか記載をしておりませんでしたので誤解を与えてしまいました。申し訳ございませんでした。</p> <p>また、「毎年3,000万円を超えるのであれば、リースではなく買い取りでもいいのではないか」とのご意見もいただいておりますが、こうした機器設備の導入・維持経費において、リース方式が有効とされる理由につきましては、初期費用が抑えられることと、長期リース契約の期間内において財政負担が平準化されるという利点があります。買い取りとなれば、導入時の初期費用はかなり大きな額となります。次年度以降、確かに維持費用は少額となりますが、トラブルが起きた場合に、突発的な修繕費用が発生してきます。リース契約であれば、そうしたメンテナンス費用・維持管理業務も含まれておりますので、毎年、一定の額で管理ができるということになります。そうしたリスク管理という意味合いも加味して、リース方式を採用しているのご理解いただければと思います。以上です。</p>
志賀教育長	<p>はい。では、前回の質問「校務用パソコン」についてですが、リース料の件で、買い取りでないメリット等ですが、いかがでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは他にないようですので、次に、協議事項について説明をお願いします。</p>
野仲教育総務課長	<p>それでは協議事項です。資料をご覧ください。(1) 令和4年度の小中学校の卒業式・幼稚園卒園式、及び令和5年度小中学校入学式・幼稚園入園式についてでございます。出席者については、裏面に案として載せております。まず①卒業式・卒園式ですが、中学校は3月3日、幼稚園が3月17日、小学校3月22日、それぞれ学校ごとに出席予定者を割り振りしております。次に、②の入学式・入園式については、中学校が4月11日、小学校4月12日、幼稚園4月13日、これも同様に割り当てをしておりますのでよろしくお願いたします。①②ともに割り当ての期日で、ご都合が悪い場合につきましては、教育総務課ま</p>

でご連絡をいただければと思います。協議事項については以上です。

志賀教育長

ただいまの説明に質疑等ありませんか。
では、協議事項についてはよろしいでしょうか。

委員

(「はい。」の声あり)

志賀教育長

次に連絡事項について。教育総務課長説明をお願いします。

野仲教育総務課長

連絡事項(1)、2月の幼稚園・小中学校の行事予定表につきまして、資料の2ページをご覧ください。2月1日、豊岡小・久住小の入学説明会、及び県立推薦入試。2日、荻小・直入小・竹田中の入学説明会、豊岡小5年生の社会見学、及び私立一般入試。3日、城原小・都野小の入学説明会。4日、竹田高校体験セミナー。6日、白丹小の入学説明会。7日、竹田小・菅生小の入学説明会、及び荻小の縄跳び大会。8日、久住中の平和集会。9日、豊岡小の縄跳び大会、南部小・祖峰小の入学説明会、及び菅生小の平和集会。10日、城原小の平和集会、及び竹田幼稚園の岡藩城下町雛祭りオープニングセレモニー。12日、久住中学校閉校記念式典。13日、久住小の避難訓練。16日、緑ヶ丘中の入学説明会、白丹小の縄跳び大会、及び竹田幼稚園の牛の餌やり体験。17日、城原小5年生の社会見学、及び竹田南部中・直入中の入学説明会。19日、都野中学校閉校記念式典。20日、祖峰小の避難訓練。21日、直入小の新1年生体験入学。22日、白丹小のお別れ遠足、及び南部幼稚園の避難訓練。24日、豊岡小のお別れ遠足、竹田中・竹田南部中・緑ヶ丘中の3年生を送る会、及び竹田幼稚園の避難訓練。27日、竹田小の6年生を送る会・お別れ遠足、都野中の3年生を送る会、及び竹田幼稚園のお別れ遠足。28日、城原小の縄跳び大会、及び久住中・直入中の3年生を送る会。

続いて、次のページ、3ページをご覧ください。2月の教育委員会関係日程(予定)表でございます。明日、2月7日、部落差別問題研修。8日、納池公園名勝地調査委員会。12日、久住中学校閉校記念式典。14日、第12回校長・所長会議、及び竹田教育研究会全体会。15日、第2回地域協働活動推進委員会議、及び久住高原農業高校第3回学校運営協議会。19日、都野中学校閉校記念式典。21日、城原小学校統合にかかる第2回城原地区説明会。22日、サフラン3年生を送る会、及び第2回学校給食運営審議会。24日、豊肥地区解放文化祭第3回実行委員会。27日、定例課長会議。28日、第13回校長・所長会議。

1ページに戻っていただきまして、(3)の今後の主な予定でございます。①教育委員会第3回定例会は、3月6日(月)15時から、本庁議室にて開催します。②第1回臨時会を3月23日(木)15時から、教育長室にて予定しております。③第4回定例会は、4月5日(水)15時から、本庁議室にて開催予定です。連絡事項につきましては以上でございます。

志賀教育長

それでは質疑等ありませんか。
それでは連絡事項についてはよろしいでしょうか。
では、各課からお願いしたいと思います。まず、野仲教育総務課長。

野仲教育総務課長

教育総務課から、1月23日に直入で開催しました統合にかかる説明会について報告いたします。この日、直入支所の大会議室を会場に、説明会・意見交換会を

行いました。たいへん寒い夜でありましたが、75名もの地域の皆さん方がお集まりくださいました。吉野委員もご参加をいただいております。ありがとうございました。

冒頭、市長からの挨拶の後、統合の提案内容について説明をし、出席の皆さんから質問やご意見をお受けしました。いただいたご意見を幾つかご紹介しますと、「地域住民のデメリットに対する配慮がない。統合の前に、地域の魅力を高めることが先ではないか」、また、「豊後大野市や豊後高田市の教育行政などを参考にして検討してはどうか」、そして、「子ども達が行きたい学校を選べるようにしてもらいたい」、それから「直入の地域力、人間力を信じてほしい。もっと時間を掛けて見守ってほしい」、このほか「どうして1学年2学級でなければいけないのか。明確な理由になっていない」など、多くの皆さんからご意見を頂戴しました。終わり際に、「また改めて説明会を希望する」とのご要望もありましたので、引き続きこのような場の設定をしたいと考えているところでございます。

このほかの学校統合関連での、今後の予定としまして、来週は城原小学校PTAの皆さんへの説明会、それから、都野中・久住中それぞれの通学方法等検討専門部会も開催を予定しております。再来週には、スクールバスを実際のルートで試乗して、子供達や保護者の皆さん方に乗車体験をしてもらおうと準備を進めているところです。また、城原地区民を対象にした2回目の意見交換会も開くこととし、地区の皆様方へ既に回覧を通じて周知をしております。教育総務課からは以上です。

志賀教育長

渡邊学校教育課長。

渡邊学校教育課長

学校教育課からは3点あります。まず、1点目は、机上に配付しております「竹田市いじめ防止方針」の改訂についてです。平成25年、国は、市町村、学校、地域、家庭等関係者が連携を図りながらいじめの問題の克服に向けて取り組むよう、いじめ防止対策推進法に基づき、「いじめの防止等のための基本的方針」を定めました。これをうけ、本市では市、学校、地域住民、家庭その他の関係者の連携の下、いじめの問題を克服することを目指して、平成29年6月に「竹田市いじめ防止基本方針」を策定しました。この度、文部科学省は、令和4年12月に「生徒指導提要」を12年ぶりに改訂し、その第4章で、各学校の「いじめ防止基本方針」の具体的展開に向けた見直しと共有や、学校内外の連携を基盤に実効的に機能する学校いじめ対策組織の構築を求めています。本市が「いじめ防止基本方針」を平成29年に定めてから5年が経過することから、現状に即したいじめ防止の対策を一層推進するため、大分大学大学院 教育学研究科宮崎好治准教授の助言の基、基本方針を改訂したところです。今後は、全小中学校に周知し、しっかりと取り組んでまいります。2点目は、第5回竹田市中学校「制服のあり方」検討委員会の報告です。配付しているデザイン参考投票の結果をご覧ください。多くの児童・生徒、保護者の皆さんに投票いただきました。ご覧の通り、結果が拮抗していますので、デザインの決定については、次回2月20日の第6回検討委員会において、投票結果を参考にし、再度実物を比較して各委員の投票及び協議で決定します。ほかの決定事項については次のとおりです。学校の識別については、ネクタイ・リボンは、リユースや転校等を配慮して市内統一とし、学校識別は、カラータブとします。学校ごとのカラータブの色は、教育委員会と校長会との話し合いで決定し、次回の検討委員会で報告しま

う。ブレザーの下に着用するシャツについては、白色のワイシャツとし、経済的負担や自分の肌に合った素材などの配慮から学校マークなど刺繍等を不要にし、どのメーカー既製服でも着用可とします。夏服・ポロシャツの導入については、通気性がよく快適に過ごせる素材のポロシャツを導入します。汚れや透けに配慮した色を選考します。また、紫外線や室内外の気温の変化や自分の体調、環境にあった服装の着用ができることが求められていることからカーディガンの着用を認めます。3点目は、12月13日に小学4、5、6年生及び中学1、2年生で実施した竹田市標準学力調査の結果について報告します。1、2頁目に、標準スコア50、全国平均を超えた教科は、緑色のセルで示しております。21教科中6教科で、昨年度と同調査より1教科増加しています。成果が見られる教科は、小学校国語及び中学校理科で、課題がみられる教科は、小中ともに算数・数学です。3頁目、同一学年の変化では、特に中2が昨年度の中2よりも標準スコアが下がっています。4頁目、同一集団比較では、小学5、6年、中学1年は、昨年度より標準スコアを伸ばしています。中学2年については社会科以外の4教科でスコアが下がっており、学習面・生活面・家庭学習や家庭環境等の多面的な分析が必要であると考えます。その対策の一つとして、昨年度2月から竹田高校と連携し、「体験セミナー」と称した高校の先生による体験授業を実施しています。この2月からは、中学2年生の希望者を対象とし、今回、2月4日のアンケートを見ますと、3年0学期として学びに向かう意欲を高めることができました。全体的には、わずかではありますが成績が向上してきていますので、竹田市学校教育ビジョンに基づく「竹田市学力向上プラン」「教科部会・学年部会」等の取組を進め、教員の授業力向上と児童生徒の学力向上に努めてまいります。以上です。

志賀教育長

工藤生涯学習課長。

工藤生涯学習課長

1点ございます。令和5年度のクロスカントリー大会は中止をいたします。先週2月1日、第1回のクロスカントリー大会の実行委員会を開催いたしまして、決定をいたしました。理由は、本年度事業で442号線の拡幅工事によるクロスカントリーコースの内側へのつけかえ工事を完成し、新年度に入って芝張り工事を実施いたしますが、その養生等にかなりの時間を要しますので、令和5年度は中止といたします。以上です。

志賀教育長

古田まちづくり文化財課長。

古田まちづくり文化財課長

特段ということではございませんけれども、以前にお知らせしました石原良純の「すごいぜ熊本城」が、テレビ朝日の九州系列5局で、先週の土曜日に放送されました。思ったよりも長尺で、岡城を取り扱った最近のテレビの中ではかなり魅力的な映し方をしてくれたと思いますし、先ほど甲高委員からご指摘いただいたように、まず歴史文化館を見て、回遊の中で岡城に上がるというようなところも、我々の意思も含めて反映して作ってくれていましたので、そういった部分というのは、春に向けて期待をしたいなと思っております。以上です。

志賀教育長

佐藤歴史文化館長。

佐藤歴史文化館長

歴史文化館です。チラシを机上に配付させていただきました。竹田市出身の収

集家が約50年の歳月をかけて収集した美術品の一部を紹介する「ある収集家のものがたり」展を2月18日から3月19日まで開催いたします。10代の頃に出会った絵画に魅せられて、芸術の世界に深く広く携わっていった竹田市出身の収集家。仕事と生活の傍ら心を動かされるままに収集した美術品は、洋画、日本画、陶芸品、茶道具、竹工芸、コンテンポラリーアートと多岐にわたります。個人的な収集だからこそ、他では決して見ることができない独自の世界観を放つ美術品たちを、初めて竹田市で紹介します。多岐にわたる美術品の世界をゆっくりご覧いただければと思っております。よろしく願いいたします。

志賀教育長

松田給食調理場長。

松田給食調理場長

親子料理教室について報告します。1月28日(土)・29日(日)の2日間で市内小学校の児童と保護者を対象にした「親子料理教室」を開催しました。主催は「竹田市学校給食研究会」といしまして、給食調理場の場長が会長で各調理場の栄養士の4名で構成されている会です。28日は久住公民館で、29日は直入公民館で、メインの味噌の仕込みを体験したあと、郷土料理のだんご汁、石垣もちを作って食べました。

久住では7組の親子、直入では8組の親子に参加していただきましたが、地元だけでなく、竹田小や荻小、城原小の親子さんの参加もあったようです。両日ともとても寒い一日でしたが、味噌の仕込みには寒い時期が適しているとか、だんご汁のだんごは寝かさないと伸びないとか、地域の食推の方から話を聞きながら和気あいあいと実習することができました。子どもたちが大事に大事に抱えて持ち帰った味噌は、梅雨が終わる頃には熟成して食べられるようになるそうです。その頃に機会があれば、自分で作った味噌の感想を聞いてみたいなども思いました。以上です。

志賀教育長

図書館についてありますか。

野仲教育総務課長

特にございません。

志賀教育長

それでは、ご意見、質問等ありませんか。
では、最後に教育委員から、ご意見、感想等があればお願いします。
甲高委員からお願いします。

甲高委員

はい。私は特にはないんですけど、先日ちょっと嬉しかったことがありまして、報告させてもらいたいと思います。先日、学校訪問の時に白丹小学校で会った5年生の児童が、学校外の授業という形で山口先生と二人で、ちょうど前を通りかかって、車とかに興味があるということで、言ってきていただいたので、一所懸命お話をさせてもらいました。しっかり挨拶もできて、また帰りにはありがとうございました。そしてこういうお手紙を後日こういう形でいただきました。しっかり一人一人に対して、寄り添って授業をしていただいていたなと思って、感心しながら対応させていただきました。以上です。

志賀教育長

では、佐藤委員お願いします。

佐藤委員

1月27日に、緑ヶ丘中学校の総合学習発表会の様子を見てきました。午前中の

選考の様子から2時間をかけて、17人の生徒の発表を見てきました。現在・過去・未来のテーマをもとに、各自でテーマを決め、プレゼンを行い、どの発表もとても興味深いものでした。過去を知ることで、今はどうなのかを知り、未来についてどうすればいいのか、どうしたいのかを考え、今の自分には情報発信ができるのではないかと、近い将来、荻町を離れることがあっても、竹田市のいいところ、荻のいいところを人に伝えることはできるんだと思うという子供たちの発言があったり、中学生全体で盛り上げていきたいという発言をする生徒もいて、そういうふうと考えられる総合学習の取り組みというのはとても素晴らしいなと思ったので、今後も続けて欲しいなと思います。そしてこの発表を聞いた後、2月の3日に第3回竹田市総合計画審議会に出席をしてきました。基本構想、前期基本計画の説明を受け、感想や意見などを出し合いました。理想とする竹田市の大きな計画を実践していく中で、見直しや検証していくその機会に、中学生にも竹田市の現状を伝えることで、中学生が未来のことや自分の将来のことをより深く考えることができるのではないかと、学力をつける意欲に繋がっていくのではないかなあというふうに感じました。感想になりますが以上です。

志賀教育長

吉野委員お願いします。

吉野委員

1月23日の「直入中学校の今後のあり方について」の説明会に参加させていただきました。野仲課長からもご説明がありましたけど、私の方でもちょっと印象に残った意見を紹介させてもらいたいと思います。地域力、人間力を信じてもっと時間をかけて見守って欲しいという意見がありましたが、それに関しては具体的にどんなことができるかとか、直入中学校が残った場合に何ができるかというのを考えている人もいると思うし、竹田中学校にいずれ統合した後にも、することになれば、そのあとにも地域で何ができるかというのは、変わらずに考えていくことだなというふうに思いました。そういうエネルギーを感じて心強く思ったところです。

また、教職の経験のある方のご意見でしたけど、一次産業も支える学校教育であって欲しいと。特に、久住高原高校の方に進学する子供を増やしたい。それにとっては、中学校が果たせることは大きいんじゃないかっていう意見があったと思うので、そこは共感したところです。それは直入中学校だけではなくて、竹田中学校や荻の方でも、一体になって考えて、もちろん竹田高校もですし、地元に残って高校に行きたいって思える子供が増えてくれるといいなと思います。

何よりもやっぱり、子供が毎日、今どういう気持ちで過ごしてるかっていうのが非常に心配だったので、中学校の校長先生にも少しお尋ねしてみましたけど、一年生の様子とかを聞いてみたら、「自分たちがこれからどうなるのかっていう不安を感じてそうじゃないですか」というふうにお尋ねしたんですが、「今できることを精一杯やるまでだ」ということで力強いお言葉をいただいたので、今度教育を考える会があるので、それにお邪魔した時にしっかり様子を見て、話ができたら、ちょっと子供たちの様子を見て、直接本人たちからも考えることを聞いてみたいなと思っています。以上です。

志賀教育長

賀籠六委員お願いします。

賀籠六委員	12日と19日とに久住中と都野中の閉校式典、閉校に向けての式典があるということと、あとまた来年度からの統合に向けてスクールバスの試乗会もあるということで、4月からの統合後の子供たちがよりよい生活ができればいいなと思っております。ちょっとスクールバスの、予定ではあるんでしょうけれども、その乗り場とかのいろんなルートを見たときに、結構細かく分けられていて、子供たちの歩くのが短くなると、運動不足とかになると思うので、朝、学校よりちょっと離れたところで降ろすとか、そういうところもできれば実施していただきたいなと思いました。以上です。
志賀教育長	はい。ありがとうございました。特に質問事項はありませんでしたが、各課から何かありますでしょうか。 学校教育課長。
渡邊学校教育課長	ありがとうございます。大変学校にかかわっていただいて感謝を申し上げます。白丹の特別支援学級の子供さんの成長が見てとれるなあと感じております。昔から車が好きで、学びたいと言って自分で足を運んで、そして、学習後にお礼の手紙が書けるっていうのは、本当にいい学習をさせていただいたなと思います。 佐藤教育委員にもおっしゃっていただいた総合的な学習の時間ということですが、昔はなかった教科ですね。それが、総合的な学習の時間としてカリキュラムに入り、年間を通してテーマを決め、つまり課題を設定して、情報を収集して整理分析をし、そして、まとめ、表現までする。そういう一連の学習の流れでございます。その中で、まとめや発表の部分を見るのが多いんですけども、それまでに、聞き取ったり、緑ヶ丘中や竹田中の生徒が来ましたけれども、この市役所にも来て、職員に話を聞いたりしながら、情報を収集し、持ち帰って整理分析をして、そして、プレゼン発表を実施したわけです。そういう、子どもたち自身が課題を決めて、そして、他者と協働しながら、解決に向けて取り組む姿勢を、是非これからも見ていただきたいと思います。
志賀教育長	他にはないでしょうか。教育総務課長。
野仲教育総務課長	賀籠六委員からスクールバス通学の関係で、子ども達の運動不足、体力低下が心配されるというご意見でございますが、現在、竹田中学校では学校の1キロぐらい手前で下車して歩くという登校をしております。これは竹田中生徒会の発案で、子ども達自身が主体的に提案をして実施をしているということ聞いております。4月からの、久住中・都野中のスクールバス通学においては、基本的には学校の隣接地、マイクロデバイス跡地に生徒を降ろして、短い距離ですがそこから学校まで歩くことを想定しております。と申しますのが、特に都野中の保護者からご意見があり、統合説明会の折に、拠点となる乗降場所までかなり歩いてくると、そういった子どもが多いので、乗り場まで歩くのであれば、バスは学校まで乗り入れてくれと、そういったご要望がありました。こうした意見を尊重して送迎の方法を考えているところでございますけれども、今後、学校現場とも検討する中で、また運行後も生徒会自らそういった発案も出てこようかと思っておりますので、また調整をしていきたいと思っております。
志賀教育長	はい。他にないでしょうか。それでは様々なご意見いただきましたが、特にス

クールバスについては、祖峰中が竹田南部中統合元年に、陸上部の子が 2 キロ離れた一つ向こうのバス停まで走って行って、乗車することを始めました。そういったことが生徒会を動かして 1 キロ前運動をやろうということになったと思います。保護者の中には、なぜ途中で降ろすのかというご意見もあるでしょうけれども、一人の生徒のそういった行動から生徒会の運動が沸き起こって、学校のスクールバスのあり方を動かしたのだというふうに思っています。統合後も、そういった動き、生徒の自主的な行動や活動を期待するところです。それから、久住高原農業高校を支えるということについてです。この会とちょっと守備範囲が違っていますが、やはり、久住高原高校を目指す生徒が竹田市内から非常に減っているのが現状です。かつては久住町内よりも、旧直入郡よりも、例えば竹田南部中が 10 人以上行ったりして定員確保ができていましたが、今は非常に少ないので、久住高原高校としても各校一人ずつ来てほしいという小さい目標を立てています。高校を育てるためにも、各中学校から、さっきの自動車好きの児童ではないですけど、キャリア教育の一環として、先日の久住高原高校の素晴らしい学習成果発表会にも感心しましたので、ぜひお勧めしたいと思っています。

それでは、以上で第 2 回定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

[閉会時刻:午後 3 時 56 分]